

# 農業委員会 だより



## 写真の説明

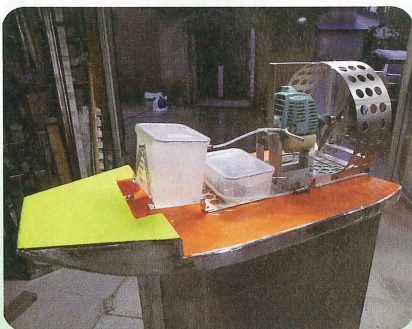
直播栽培を行っている矢島地域の新所集落営農組合の圃場に、構成員が製作したエアポートタイプの散布機が登場しました。

製作者の柴田幹男さん（写真）は、田に入らずに散布することにより労力が削減されること、販売されている同様の機械が高額であることから、自作する構想を重ね、4月始めから試作を開始したそうです。

エンジンは自宅に眠っていた草刈り機の使用、船体は発泡スチロール、他にアルミ材やグラスファイバー、ステンレス等を使用して加工し、試運転と改造を繰り返し完成しました。コントロールを使った運転に慣れれば、50aの圃場を15〜20分くらいで散布できるそうです。

この散布機の活躍により、低労力化が進むことが期待されます。

（相庭 安一委員）

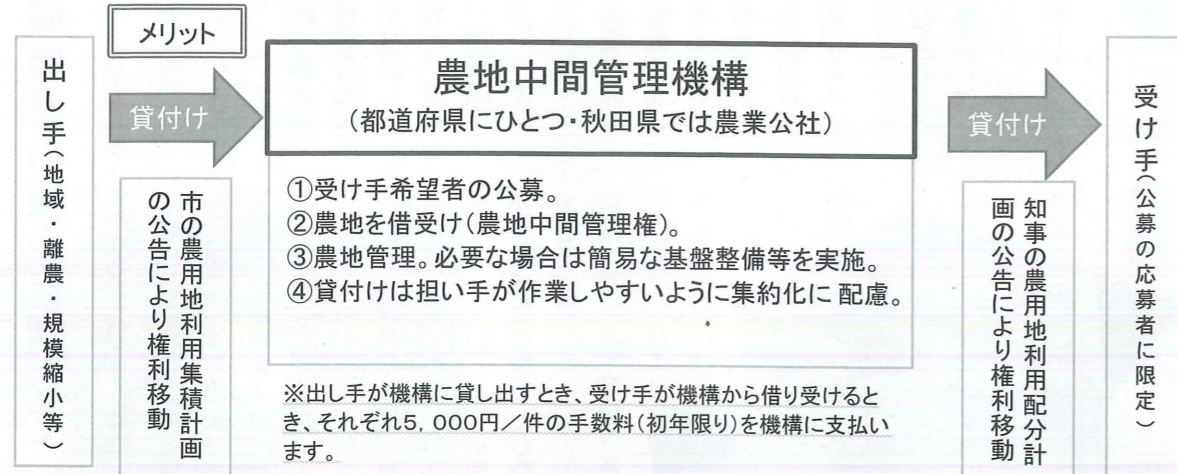


軽量化を徹底し、運動性能を強化！

農地の貸し借りに新しい仕組みが増えます！

### 農地中間管理事業の概要

農業構造の改革と生産コストの削減を進め、農業の競争力を強化するため、農地の中間受け皿となる「農地中間管理機構」を設立し、同機構による担い手への農地の集積・集約化を促進することが本事業の目的です。



#### 農地中間管理機構を活用するメリット

##### 1. 地域に対する支援(地域集積協力金)

…機構に「地域」でまとまって農地を貸し付ける場合、地域内農地の貸付け割合に応じて、「地域」に交付されます。交付金の用途は「地域」の判断によります。

「地域」における機構への貸付割合	H26~27	H28~29	H30
2割超5割以下	2万円/10a	1.5万円/10a	1万円/10a
5割超8割以下	2.8万円/10a	2.1万円/10a	1.4万円/10a
8割超	3.6万円/10a	2.7万円/10a	1.8万円/10a

##### 2. 出し手個人に対する協力金

###### ①経営転換協力金

…機構に農地を貸し付けて、経営転換やリタイアする方に交付されます。

機構への貸付け面積	
0.5ha以下	30万円/戸
0.5ha超2ha以下	50万円/戸
2ha超	70万円/戸

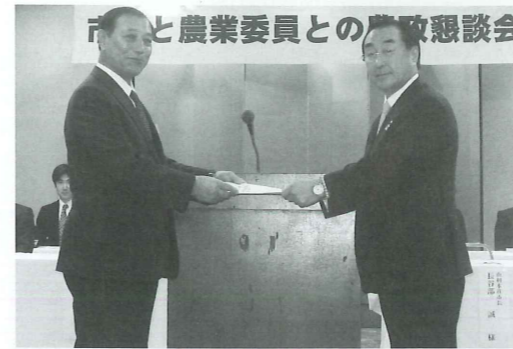
###### ②耕作者集積協力金

…機構の借受け農地に隣接する農地を機構に貸し付けたときに、それまで当該地を耕作していた方に交付されます。

H26~27	H28~29	H30
2万円/10a	1万円/10a	5千円/10a

農地中間管理事業を活用するには、「地域」での話し合いが重要となります。今後、説明会が開催される予定です。ぜひご参加ください。

## 農業委員会の活動レポート



市長と農業委員との農政懇談会

1月31日、長谷部市長へ市農業施策に関する「建議」を行いました。市長より、担い手確保や農業所得の向上等については重点的に取り組んでいかなければならない課題であり、新たな農業施策等を活用しながら支援していきたいということ、「建議」の内容を市の農政施策に反映させていきたいと回答がありました。終了後、市長と農業委員との農政懇談会を行い、活発な意見交換が行われました。

市へ「建議」を行いました

2月6日、市議会へ市農業施策に関する要望を行いました。またこの度の農業委員の改選にあたり、女性・青年農業者、認定農業者の方を議会の選任委員として登用することについて、県農業会議・全国農業会議所と連名で要請しました。鈴木議長からは、農業は基幹産業と捉えており、議会としても農業施策の推進について支援していきたいと回答がありました。



市議会に要望書を提出しました



由利本荘市家族経営協定調印式

(手前左より)角谷長浩さん、長栄さん

家族経営協定とは、家族で取り組む農業経営の方針やそれぞれの役割分担などを取り決めるものです。昨年度は本荘地域の角谷長栄さん・長浩さん親子と、岩城地域の前川善隆さん・真由美さん夫妻の2家族が本協定を結びました。それぞれに開催された調印式では、市農業委員会の伊豆会長ら立ち会いのもと、協定書に調印し、各家族を代表して挨拶がありました。角谷長栄さんは、就農して間もない長浩さんについて「一つ一つ技術を覚えて、将来の農業の方向性を定めていってほしい」と期待がこめられ、前川善隆さんは「販路開拓に努め、技術を高めていきたい」と力強く抱負を述べられました。また、県や市のご来賓より「地域の担い手として積極的に農業に取り組んでほしい」と激励の言葉がありました。本市の家族経営協定数は今回の締結により46家族となりました。本協定の締結により、認定農業者制度の共同申請が可能になることや、農業者年金の保険料に対する国庫助成が受けられる(他要件あり)などのメリットがあります。

### 2家族が家族経営協定を締結



由利本荘市家族経営協定

前川善隆さん(中)、真由美さん(右)

本協定の締結に関心のある方は、農業委員会事務局までご連絡ください。



集落営農組合・農業生産法人の展望

### 地域農業の核を目指して

鳥海地域 管子センターファーム 代表 佐藤 源衛

地域の秋作業の効率化と低コスト化を目的とし、平成16年に作業受託組合「管子センターファーム」を設立、また国の経営構造対策事業を活用し、鉄骨構造約260㎡のミニライスセンターを建設しました。当時は構成員4名で、水稻の刈り取り面積は22ha、乾燥調整作業は124tを請け負っていました。

10年近くたった今、作業委託者は15名、面積は29ha、乾燥調整は154tと引き受ける量は増えています。常時6名の作業員が稼働しており、作業内容の工夫次第では、まだまだ請け負える余裕があると話しています。

請け負っている品種はあきたこまちで、播種している農地には「Aで勤めている土壌改良材「大地の息吹」の散布をお願いしており、できあがった米は「こだわり米」として出荷しています。

今後の展開については米政策の変化に対応した方策を検討してい



地域農業を担う組合のミニライスセンター

かなければならないと思っています。また、本年度より導入した無人ヘリの活用により、新たな展開にも挑戦したいと考えています。どの地域も同じでしょうが、高齢化と後継者不足等、数々の問題が山積みの中で、いかに地域農業を守っていくか、展開していくかを、地域の皆で話し合っているところですよ。

(大場 弥吉委員)



頑張るアグリウーマン

### 地域で生きる今

矢島地域 佐藤 ひろ子

鳥海山の麓で生まれ、暮らし続けて60年も過ぎました。私は夫と二人で稲作とピーマンのハウス栽培をしています。

以前は家の近くの圃場だけで稲作をしていましたが、平成22年9月に由利地域に住む叔父が急病で亡くなり、由利地域の圃場も管理することになってから生活が一変しました。叔父の葬式を終え、稲刈りを始めましたが、とても二人では刈り終えることなどできないと思い、近所の方々の手をお借りし、カントリーエレベーターにもお願いして、どうにか秋作業を終了することができました。それから叔父が頑張って守り続けてきた農地を引き継ぎ、翌年から本格的に耕作することになりました。相続のことや叔父が小作していた方々との契約などの手続きをクリアしながら、今も管理を続けています。

ハウスでのピーマン栽培は、育苗後のハウスを利用しています。管理や収穫は11月まで続きますが、楽しみながらやっています。4年程前からは生活研究グループに加入させていただき、様々な



ご夫婦の笑顔が印象的な作業風景

講演会や講習会等に参加しています。グループの事業として長く続いている「ふるさと宅配便」にも関わるようになりました。会員の方達が手作りで準備した品物は、宅配便で届けられたら、きつと喜んでいただけるものばかりです。こうして農作業に携わり、様々な活動に参加して過ごしているうちに季節が始まっています。これからも地域の行事や婦人部の活動にも参加しながら、楽しく一年を過ごしたいと思っています。

(三浦 恵子委員)



### 生涯現役

東由利地域 小野 清幸 恵子 ご夫妻

私たちは昭和32年に結婚し、60年近く連れ添って参りました。私は今年で80歳、妻は78歳になりました。

朝は5時に起床、牛の世話をし、それから15年以上栽培を続けている葉たばこを手入れしてから朝食をとります。牛は成牛が9頭、子牛が5頭います。近日中に出産を控えている母牛がいるので、大変忙しい毎日です。息子夫婦と孫は会社に勤務しており、休日を利用して農作業をしています。

私の家はずっと専業農家でしたので、小さい頃から家の手伝いをし、農作業に携わってきました。昔の農作業には馬や牛の働きが欠かせませんでした。春には田堀りや代掻きに、冬はそりをひかせて肥を田んぼに引いていました。移動も馬を利用することが多く、朝の暗い中を馬にまたがり、



長年続けられている葉たばこ栽培

山へ行って草を刈ることもありました。その後、時代が変わり、馬から農機具を利用した農作業へ移行し、私の家では和牛や乳牛を育てるようになりました。私は冬場に東京や富山の会社に25年以上出稼ぎに行っていましたので、その間は家に残った妻が農作業の中心となりました。妻には大変難儀をかけたと思います。その頃は私と同じよう

に出稼ぎに出る人が多く、正月になると、皆家に帰ってきますので、私の家だけでなく、近所の家々も明るいにぎやかな正月になったことが特に思い出されます。農業の現状を見ると、米価が昔よりもはるかに下がり、将来が不安視されていますが、息子と相談してこれからも農業を続けていきたいと考えています。趣味の民謡とカラオケを楽しみながら、若い人たちに協力し、妻や家族とともに明るく人生を過ごしたいと思っています。

(小野 眞一委員)

## 農業者年金

担い手積立年金  
「担い手積立年金」は農業者年金の愛称です

### 農業者年金



Q 後継者に経営移譲して農業者年金を受給しています。今年から始まる「農地中間管理機構」へ農地を貸し出したいと考えていますが、貸し出した場合、年金の支給は停まるのでしょうか？

A 後継者に経営移譲して年金を受給されている方の場合、原則、当初契約から10年以上経過し、後継者と再契約をしなければ他の人に貸し出すことはできません。

しかし、農地集積を促進するため、要件を満たす担い手等に農地を貸し付けることは可能です。「農地中間管理機構」は、この要件を満たす相手方として認められておりますので、農地を貸し出すことができます。

設問のようなケースがありましたら、事前に農業委員会事務局かお近くの総合支所庶務班（産業課内）にご相談ください。



農業に

# チャレンジ

本庄地域 作左部

雄たけし

私は大学を卒業した後、実家に就農しました。幼少時代から畑が遊び場で、野菜や花の種をまいたのを覚えています。学生の時には祖父の畑仕事を手伝い、いつかは農業をやりたいと思っていました。

就農して1年目は販売の方に重点を置いて、年間を通して野菜の流通量や流通品目、価格など調査しながら祖父、母と一緒に農作業をしていました。2年目以降からは、栽培、管理に重点を置くようになりました。そして昨年、祖父から経営を移譲され、現在は母と二人で農業をしています。少量多品目の野菜を栽培し、主にスーパーの地場産コーナーに出荷しています。

就農してから大変だったのは、農業は天候に左右されることが多いということでした。特に2年前の暴風ではハウスがほぼ全壊してしまい、自然には敵わないということを実感しました。しかし、地域の皆さんに年間をとおして美味しく、より良い野菜を食べてもらいたいとの思いから、ハウスを復旧する決意をしました。復旧するにあたってコストも時

間もかかりましたが、無事に元の状態に戻すことができました。その後、さらにハウスを2棟増やし、より多くの野菜を出荷する体制が整いました。

毎日が勉強の日々で、仕事の合間にベテラン農家の方の畑へ見学に行き、アドバイスをもらっています。盗めるところは盗んで、自分のものにするように努めています。

今後はさらに規模拡大し、雇用を生み出し、地域を活性化することができると考えています。また、野菜を使った加工品などにも取り組みたいです。これからも農業という職業に誇りをもって励みたいと思います。

(伊藤 一正委員)



管理の行き届いた圃場

## 農地に関する



Q 農地の相続税、贈与税の納税猶予を受けていますが、「農地中間管理機構」に農地を貸し出すことはできますか？

A 特例を除き、納税猶予の適用を受けた農地を売り渡し、貸付け等を行うと、猶予が打ち切りとなってしまいます。しかし、他の要件を満たした上で、機構へ農地を貸し出したときは、猶予が打ち切られない場合があります。

このようなケースがありましたら、事前に農業委員会事務局または総合支所庶務班(産業課内)にご相談ください。

**全国農業新聞**  
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

週刊 金曜日発行 月600円、年7,200円 (消費税込)

購読のお申し込みは市町村農業委員会へ  
お気軽にご連絡ください。

発行所 全国農業会議所  
〒102-0084  
東京都千代田区二番町9-8 中央労働基準協会ビル  
電話 03-6910-1130

## 編集後記

7月の改選に伴い、今の広報委員の顔ぶれで農業委員会だよりを作成するのは、今号で最後となります。

初めて作成に携わったときは戸惑いもありましたが、3年間やってきてようやく慣れた頃だと思えます。この3年間は「笑顔」をテーマに表紙を作成してきました。

写真や原稿作成に協力していただいた皆様、たくさんの「笑顔」をありがとうございました。そして広報委員の方々、お疲れ様でした。これからも目を通してくださる方々を「笑顔」にする農業委員会だよりを作っていたきたいと思います。

(佐藤 俊和委員)

● 農業委員会 ●			
本 庁		TEL 24-6258	
(事 務 局)	農政班	TEL 24-6259	
	農地班	TEL 24-6260	
		FAX 24-6396	
矢 島	庶 務 班	TEL 55-4957	
岩 城	庶 務 班	TEL 73-2014	
由 利	庶 務 班	TEL 53-2114	
大 内	庶 務 班	TEL 65-2804	
東 由 利	庶 務 班	TEL 69-2116	
西 目	庶 務 班	TEL 33-4614	
鳥 海	庶 務 班	TEL 57-2205	
広報委員			
相 庭	安 一・佐藤	俊 和・佐藤	喜 勝
伊 藤	一 正・小野	眞 一・三浦	善 信
大 場	弥 吉・三浦	恵 子・石田	
伊 藤	文 円		